

MUJI 無印良品

保存用

ステンレスユニットシェルフ・フロントスクリーン用レール84cm・2連タイプ
ステンレスユニットシェルフ・フロントスクリーン用レール84cm・連結用

組立・取扱説明書

この度は本商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前に本書をよくお読みいただき、内容を理解した上で、正しく組み立て、正しくお使いください。

また、本書はいつでも確認できるように大切に保管してください。

もくじ

ページ

重要なお知らせ（安全上のご注意）	2～3
パーツリスト	4
各部の名称	5
組立方法	6～11
転倒防止用補助金具の取付け方法	12～15
お手入れ方法	16
製品仕様	16
お問い合わせ先	16

2017年6月26日

重要なお知らせ（安全上のご注意）

必ずお守りください。

本書には、お使いになる方や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

●表示の説明

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。



警告

使用者が死亡または重傷（※1）を負うことが想定される内容です。



注意

使用者が傷害（※2）を負うことや物的損害（※3）が発生することが想定される内容です。

●図記号の説明

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です。）



してはいけない「禁止」の内容です。



実行しなければならない内容です。

※1 重傷とは、失明やケガ、やけど、骨折、中毒、感電などで後遺症が残るもの及び治療に入院、長期の通院を要するものをさします。

※2 傷害とは、治療や入院や長期の通院を要しない、ケガ、やけどをさします。

※3 物的損害とは、家屋、家財にかかる拡大損害をさします。

！ 警告



禁止

- お子さまが商品にぶら下がったり、登ったりさせないでください。商品の転倒や破損によりケガをするおそれがあります。
- 商品の近くでストーブなどの暖房器具を使用しないでください。引火して火災の原因となります。
- 不要になった包装材料のプラスチック製の袋は乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤飲した場合窒息などのおそれがあります。
- フィッティングパーツは小さな部品です。幼児の手の届く所に置かないでください。また、紛失しないでください。誤飲した場合、窒息などのおそれがあります。



行う

- 棚セット（※）もしくは、追加用帆立（単品）に付属の組立・取扱説明書をよく読み正しくお使いください。組み立てた商品に対し、お使いになる上での注意が記載されており、ケガを防ぎ、安全にお使いいただくために重要です。

※ステンレスユニットシェルフシリーズ、スチールユニットシェルフシリーズの帆立・棚板・クロスバーがセットになった商品。

！ 注意



禁止

- スクリーンを持って移動させないでください。スクリーンがはずれたり、転倒によりケガをする原因となります。
- スクリーンを無理に引っ張ったり押したりしないでください。スクリーンのやぶれや外れ、転倒により、ケガをするおそれがあります。
- 組み立てが不完全なまま使用しないでください。固定部分が外れてケガの原因になることがあります。
- 移動する際は、引きずらないでください。商品の破損、床面へのキズの原因となります。
- 用途以外では使用しないでください。思わぬ事故やケガの原因となります。
- 修理及び改造はしないでください。製品の強度が弱くなりケガをする原因となります。

重要なお知らせ (安全上のご注意)

必ずお守りください。 (つづき)

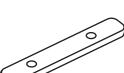
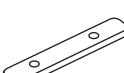
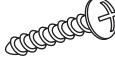
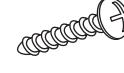
⚠ 注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none">●屋外では使用しないでください。変形や著しい劣化により、ケガをする原因となります。●フィッティングパーツのアンカーは直接日光の当たる場所で使用・保管しないでください。劣化の原因となり、ケガをするおそれがあります。
 行う	<ul style="list-style-type: none">●ボルトなどフィッティングパーツのゆるみがないか定期的に点検し、ゆるみはじめたら締め直してください。そのまま使用すると破損、ケガの原因となります。●各部にグラッキや異音など異常がないか定期的に点検し、異常が認められた場合は使用を中止してください。●各部が破損した場合は、直ちに使用を中止してください。破損したまま使用しますとケガをするおそれがあります。●組み立ては必ず2人以上で行ってください。1人で作業をされると、商品の破損や落下などによりケガの原因となります。●移動する際は、収納物を取り除いてから、2人以上で移動させてください。 1人で引きずったりするなど無理に移動させるとケガや破損する原因となります。●引越しなどで移動する際は、組み立て前の状態に戻してから運んでください。パーツが外れて、ケガや商品が破損する原因となります。●付属されている転倒防止用補助金具を取り付けてご使用ください。ご使用中の商品の揺れや、転倒を抑えるための補助パーツです。(耐震用ではありませんので、ご注意ください。)

お願い (その他 注意)

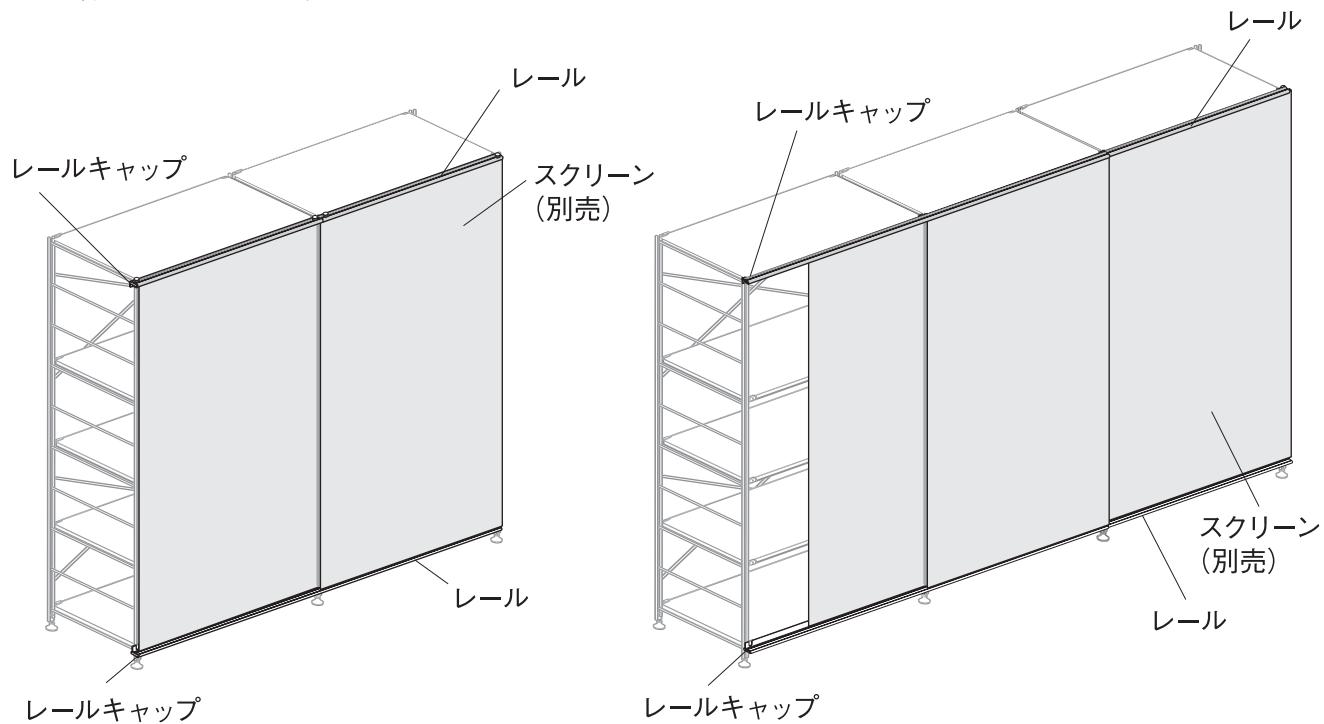
	<ul style="list-style-type: none">●直射日光の当たる場所で使用しないでください。反りや変色などの劣化の原因となります。●平らで安定した場所に設置してください。不安定な場所での使用は、製品がゆがんだり、破損の原因になることがあります。●お手入れの際はシンナーなどの有機溶剤や漂白剤などを含んだ布等でふかないでください。 変色や変形の原因となります。●梱包材は、開封後は居住地域自治体のルールに従い、処分してください。
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

パーツリスト

セット種類 パーツ名	フロントスクリーン用レール84cm・ 2連タイプ	フロントスクリーン用レール84cm・ 連結用タイプ
Ⓐレール(上下共通)	 ×4本	 ×2本
Ⓑレールキャップ	 ×4ヶ	※連結タイプにはレールキャップは同梱されておりません
Ⓒ連結棒	 ×2ヶ	 ×2ヶ
Ⓓネジ(M3×4)	 ×8ヶ	 ×4ヶ
Ⓔ転倒防止用 補助金具	 ×2ヶ	 ×1ヶ
Ⓕ六角穴付きネジ	 ×4ヶ	 ×2ヶ
Ⓖ木ネジ(4.1×45)	 ×4本	 ×2本
Ⓗアンカー	 ×4ヶ	 ×2ヶ
Ⓘ下穴用キリ	 ×2ヶ	 ×1ヶ

各部の名称

※下図は連結したユニットシェルフワイド・大にレールとスクリーン(別売)を取り付けたイラストです。



〈フロントスクリーン用レール84cm・2連タイプ〉

〈フロントスクリーン用レール84cm・2連タイプ〉に
〈フロントスクリーン用レール84cm・連結用〉を
組み合わせて3連結した図になります。

組立方法

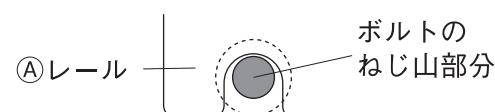
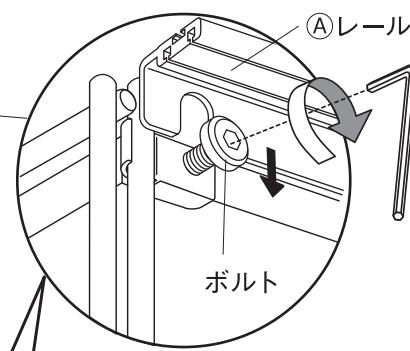
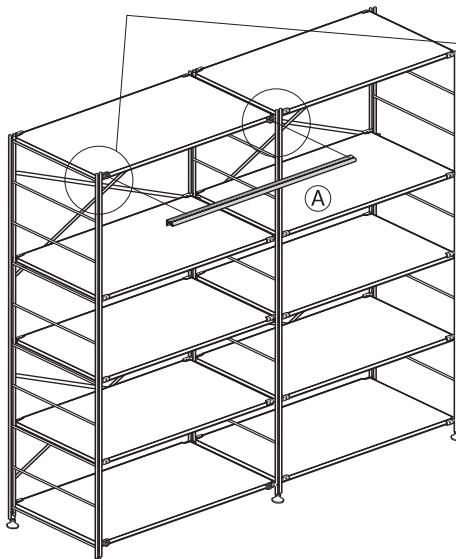


- 組み立ては必ず2人以上で行ってください。1人で作業されると、商品の破損や落下などによりケガをする原因となります。
- 組み立てには電動工具は使用しないでください。
- 組み立て後、1週間程度経過しましたら、棚板のボルトやバーツリストのネジ類を締め直してください。使い始めはゆるんでいる場合があり、そのまま使用すると破損、ケガの原因となります。
- 組み立て、設置の際は、床や既存の家具にキズがつかないようご注意ください。

1

本体最上段の棚板のボルトを六角レンチで3~4回転ほどゆるめ、ⒶレールのU型の切り欠きをボルトに合わせてひっかけ、ボルトを六角レンチで締めて仮止めしておきます。

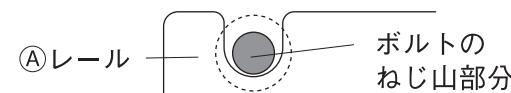
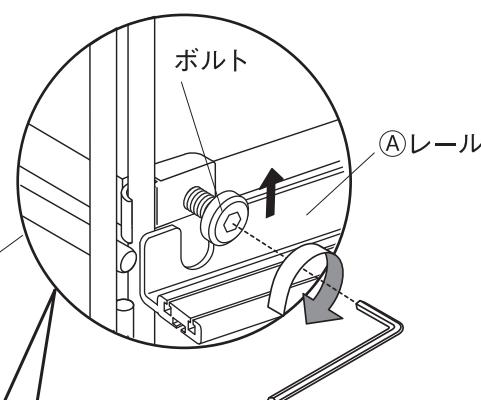
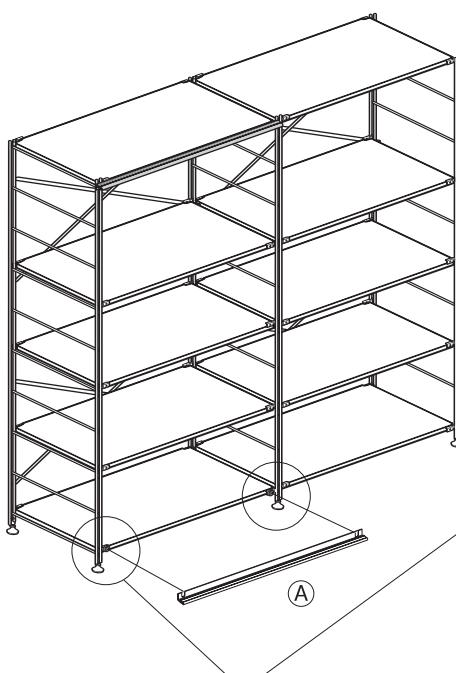
※六角レンチはユニットシェルフの棚セットに付属されていたもの、もしくはお手持ちのものをお使いください。
※レールはすべて共通です。



ボルトを仮止めする際、ボルトのねじ山にレールの切り欠きの頂点があたるようにしてください。

2

つぎに本体最下段の棚板のボルトを六角レンチで3~4回転ほどゆるめ、ⒶレールのU型の切り欠きをボルトに合わせて差しこみ、ボルトを六角レンチで締めて仮止めしておきます。

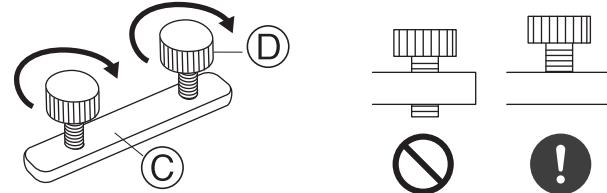


ボルトを仮止めする際、ボルトのねじ山にレールの切り欠きの頂点があたるようにしてください。

組立方法（つづき）

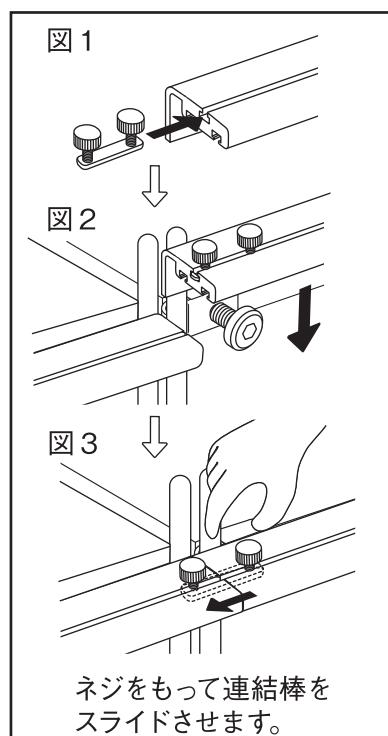
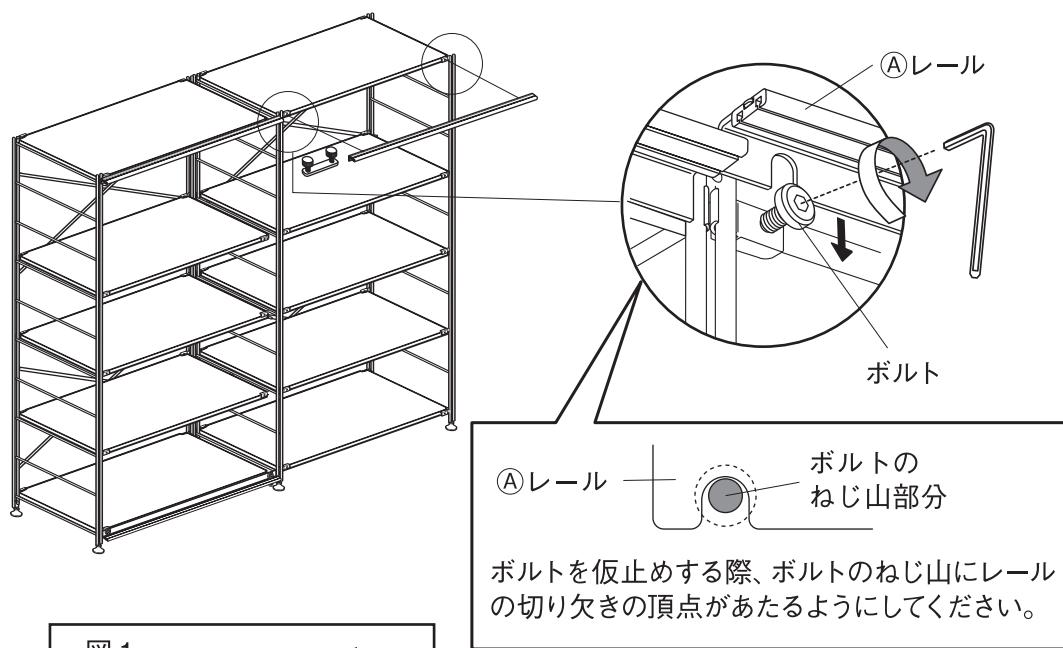
準備として

◎連結棒に④ネジをあらかじめ取り付けてください。
その際、④ネジは最後まで締めず、裏側から
④ネジが出ない程度に取り付けてください。



3

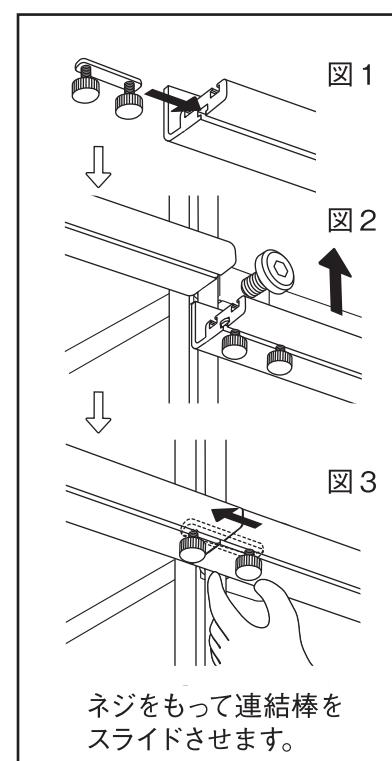
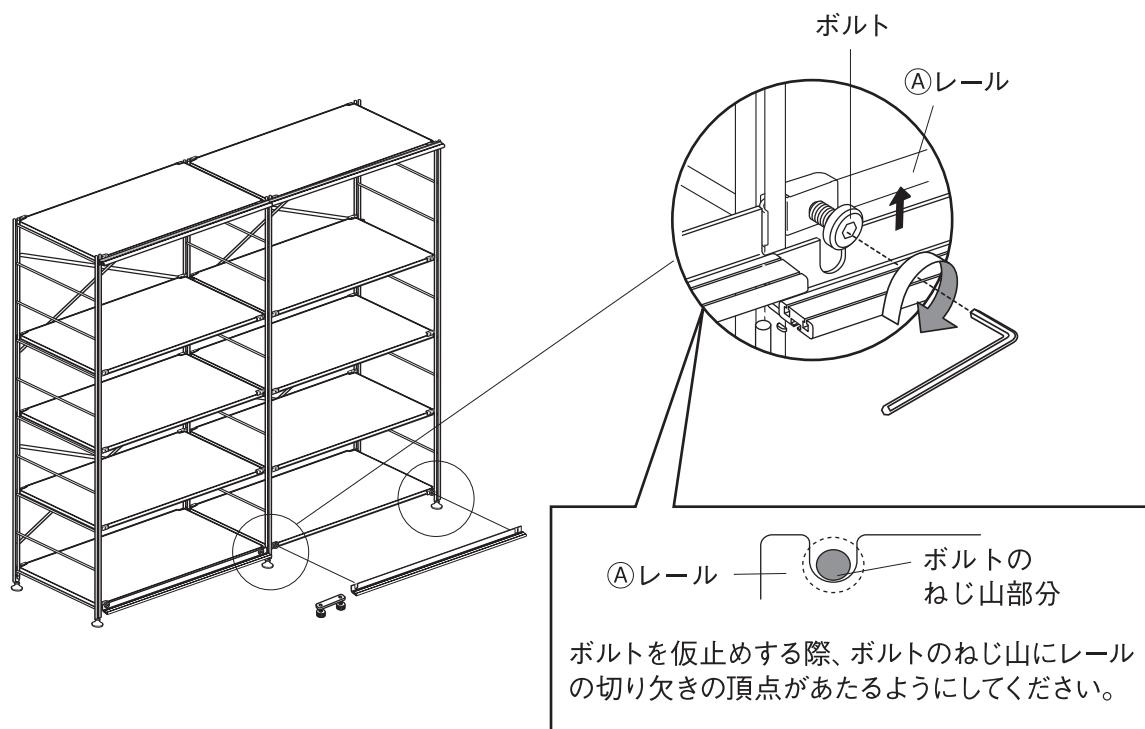
- ① 上側のⒶレールの溝にⒷ連結棒を入れ、Ⓐレールからはみ出さない位置まで差し込みます。（図1参照）
- ② 本体の○で囲んだ位置の棚板のボルトを、六角レンチで3～4回転ほどゆるめてから、Ⓑ連結棒を差し込んだⒶレールのU型の切り欠きを、ボルトに合わせてひっかけ、ボルトを六角レンチで締めて仮止めします。（図2 参照）
- ③ 左右のⒶレールの端部をとなりあわせ、④ネジをもって、Ⓑ連結棒をスライドさせ、左右のⒶレールを連結させます。（図3 参照） 帆立の中心にレールの端部がくるようにしてください。
- ④ レールを隙間なくとなりあわせ、Ⓑ連結棒に取り付けた④ネジを増し締めします。



組立方法（つづき）

4

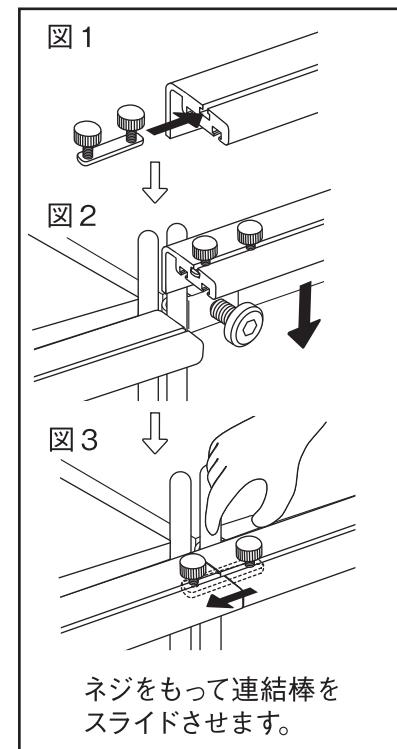
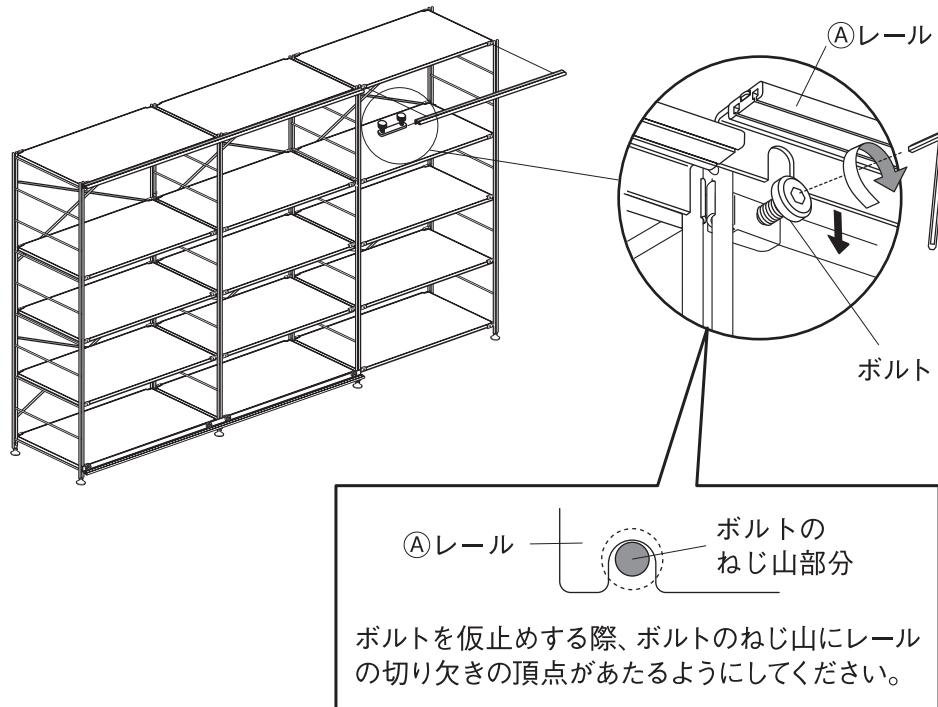
- ① 下側のⒶレールの溝にⒷ連結棒を入れ、レールからはみ出さない位置まで差し込みます。（図1参照）
- ② 本体の○で囲んだ位置の棚板のボルトを3～4回転ほどゆるめ、Ⓑ連結棒を差し込んだⒶレールのU型の切り欠きをボルトに合わせてはさみ、ボルトを六角レンチで締めて仮止めします。（図2参照）
- ③ 左右のⒶレールの端部をとなりあわせ、ⒹネジをもってⒷ連結棒をスライドさせ、左右のⒶレールを連結させます。（図3参照） 帆立の中心にレールの端部がくるようにしてください。
- ④ レールを隙間なくとなりあわせ、Ⓑ連結棒に取り付けたⒹネジを増し締めします。



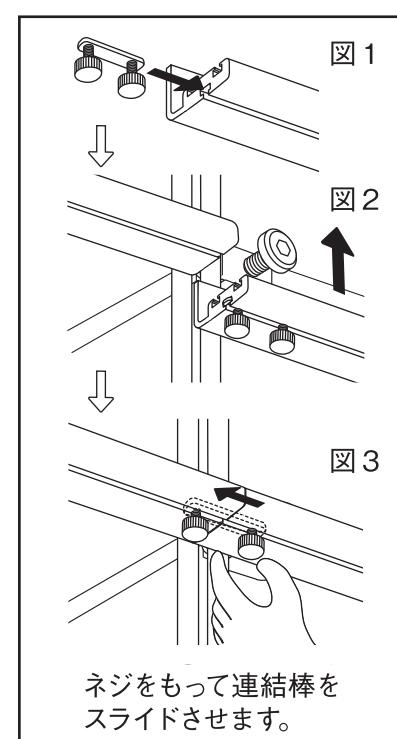
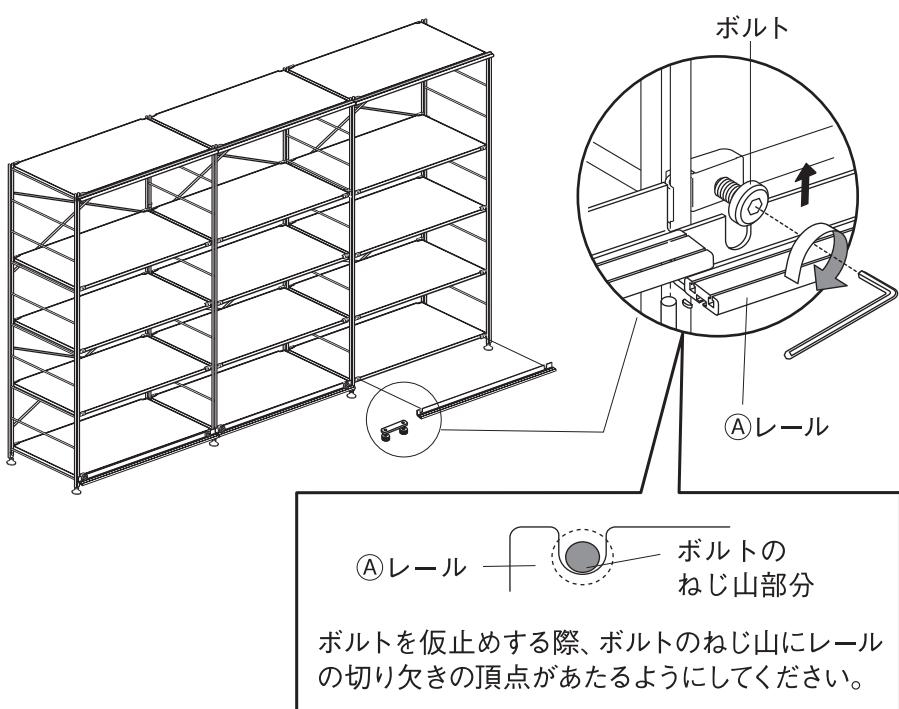
組立方法（つづき）

さらに「連結用タイプ」のレールを使い本体を3連結で使用する場合は**5**へお進みください。
2連結でご使用する場合は、手順**7**へお進みください。

- 5** **3**の手順を参考に、上側の連結用のレールを組み立てます。
(本体を3連結で使用する場合のみ実施)
※レールはすべて共通です。



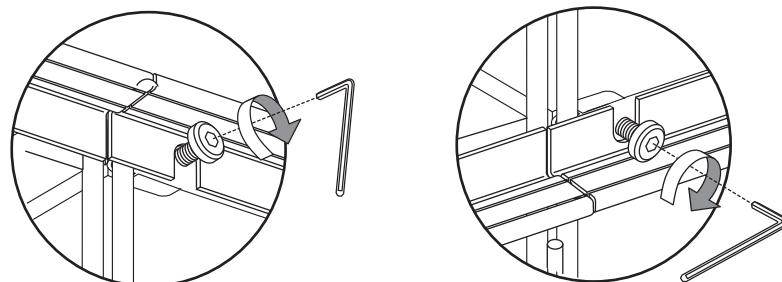
- 6** **4**の手順を参考に、下側の連結用のレールを組み立てます。
(本体を3連結で使用する場合のみ実施)



組立方法（つづき）

7

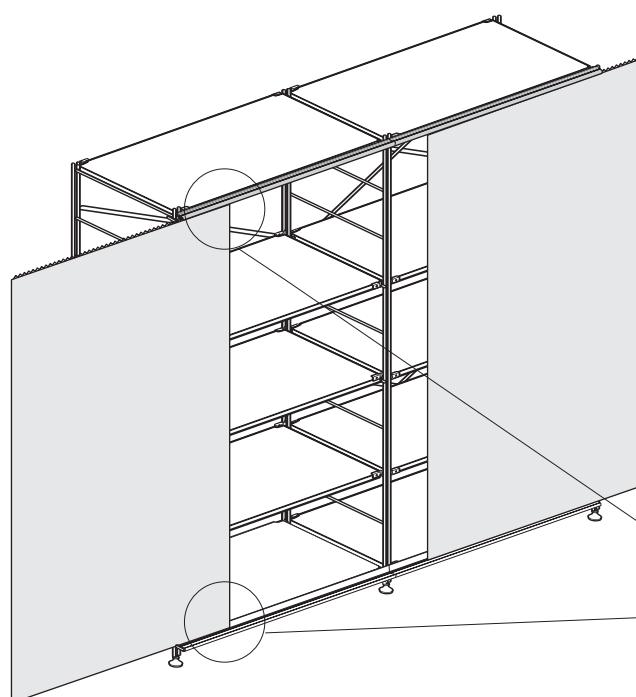
全てのレールを隙間なく連結させましたら、全てのボルトを増し締めします。

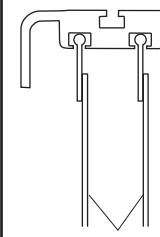


8

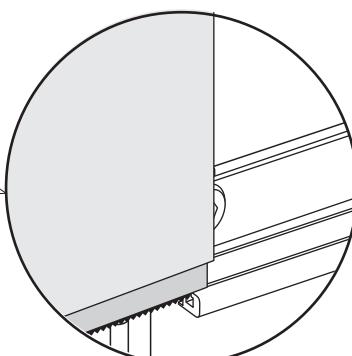
連結した④レールにスクリーン（別売）をレールの溝に通します。

※スクリーンの詳しい取り付け方は、別売りのスクリーンの組立説明書をご参照ください。



お願い (その他 注意)	1枚のスクリーンに対して、上下のレールの奥と手前の溝を同時に使用しないようご注意ください。
 スクリーン	 奥 手前 スクリーン 奥 手前

※1枚を奥と手前に通すことはできません。

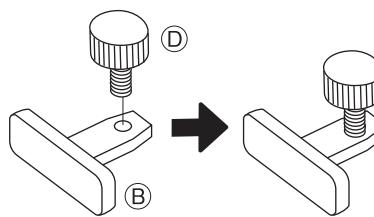


※イラストはフロントスクリーン用レール84cm・2連タイプ取り付け時

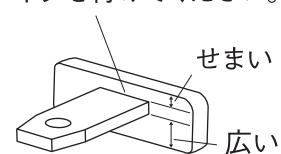
組立方法（つづき）

準備として

Ⓐレールキャップに④ネジをあらかじめ取り付けてください。その際、④ネジは最後まで締めず、裏側から④ネジが出ない程度に取り付けてください。

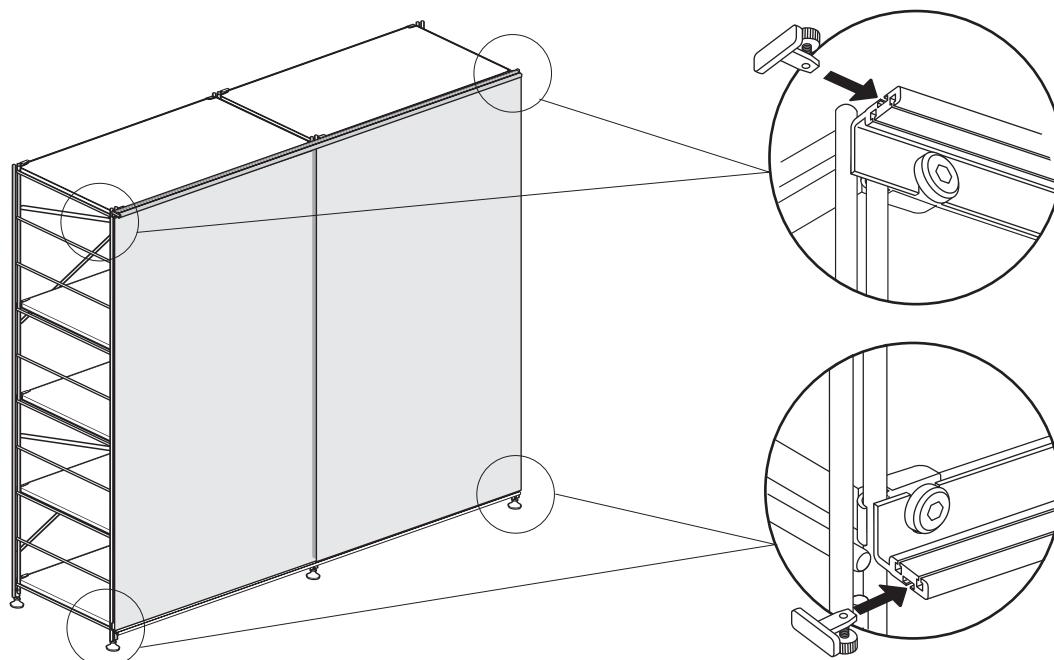


※ここがせまい方を上にしてネジを付けてください。



9

上下のⒶレールの両端の溝に、④ネジを取り付けたⒷレールキャップを奥までさしこみ、すべての④ネジを締めて完成です。



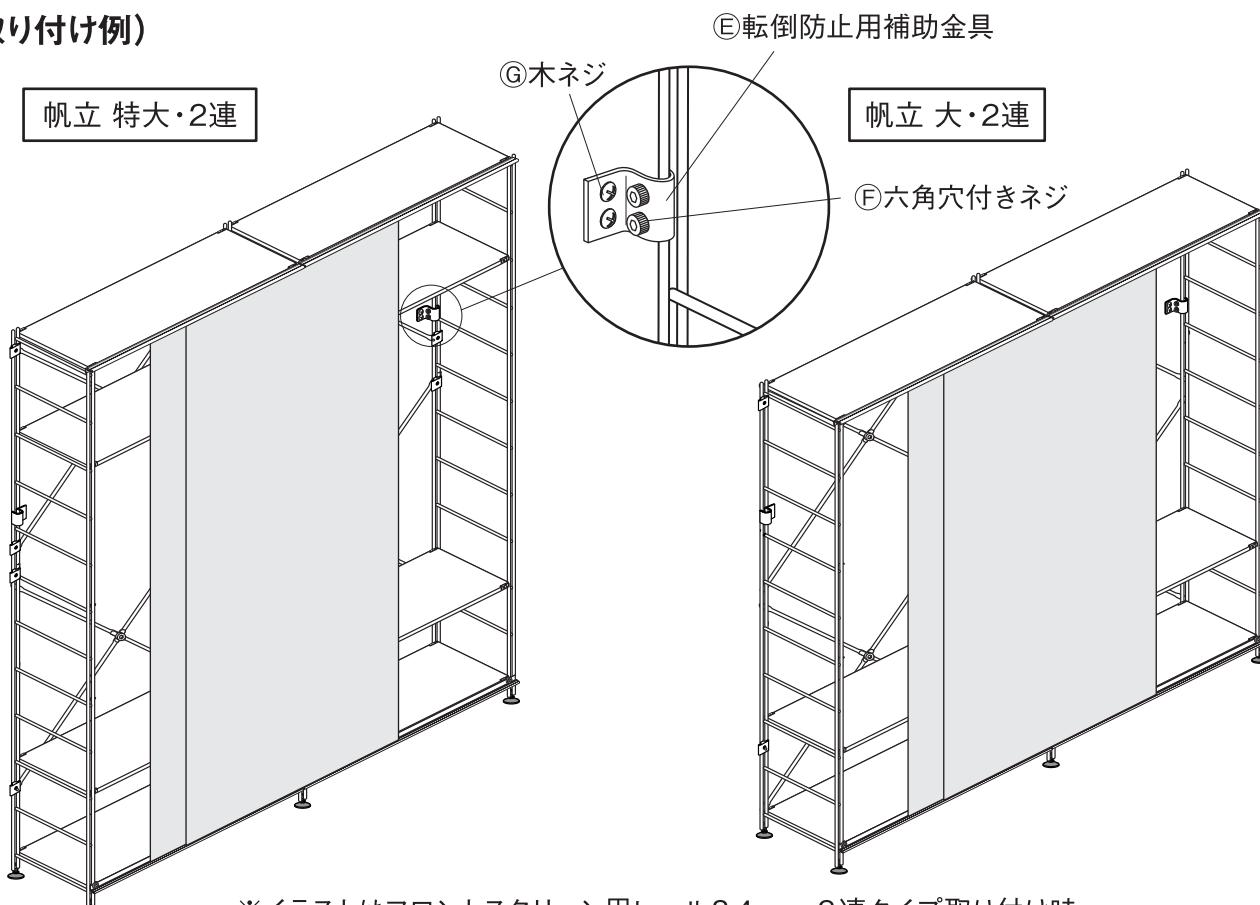
※イラストはフロントスクリーン用レール84cm・2連タイプ取り付け時

転倒防止用補助金具の取付け方法



- レール及びスクリーンをご使用の場合は、必ず以下の手順に従って付属されている転倒防止用補助金具を取り付けてご使用ください。
スクリーンの開閉など、ご使用中の商品の揺れや、転倒をおさえるためのパーツです。（耐震用ではありませんので、ご注意ください。）

（取り付け例）



※イラストはフロントスクリーン用レール84cm・2連タイプ取り付け時

！警告

	<p>●耐震用の固定用金具として利用しないでください。地震などによる振動など、過度の負荷が掛かった場合、金具が外れて商品が転倒し、ケガをするおそれがあります。</p> <p>●付属の転倒防止用補助金具や木ネジ、アンカーは破損や変形した状態で使用しないでください。強度が弱まり商品が転倒しケガをする原因となります。</p>
	<p>●レールを取り付けてスクリーンを設置する場合は必ず取り付けてください。取り付けない状態で使用すると、使用中に商品が転倒し、ケガをするおそれがあります。</p> <p>●取り付ける壁面が、商品をしっかりと固定できる住宅の構造（内装材や梁など）であることを確認したうえで商品を設置してください。誤った位置に固定すると十分な強度が得られず、商品が転倒し、ケガをする原因となります。</p> <p>●商品と壁に固定したネジは、確実に取り付けたことを確認し、その後も定期的に点検してください。また、地震などの振動や揺れや衝撃が加わった後にも必ず確認してください。点検の結果、ゆるみがあった場合は、商品や転倒防止用補助金具の設置位置を変えて取り付けてください。ゆるんだまま使用すると、商品が転倒しケガをする原因となります。</p> <p>●付属の転倒防止用補助金具は取り付け方法をよく読み、正しく取り付けてください。誤った取り付け状態では、強度が弱まり、商品が転倒しケガをする原因となります。</p>

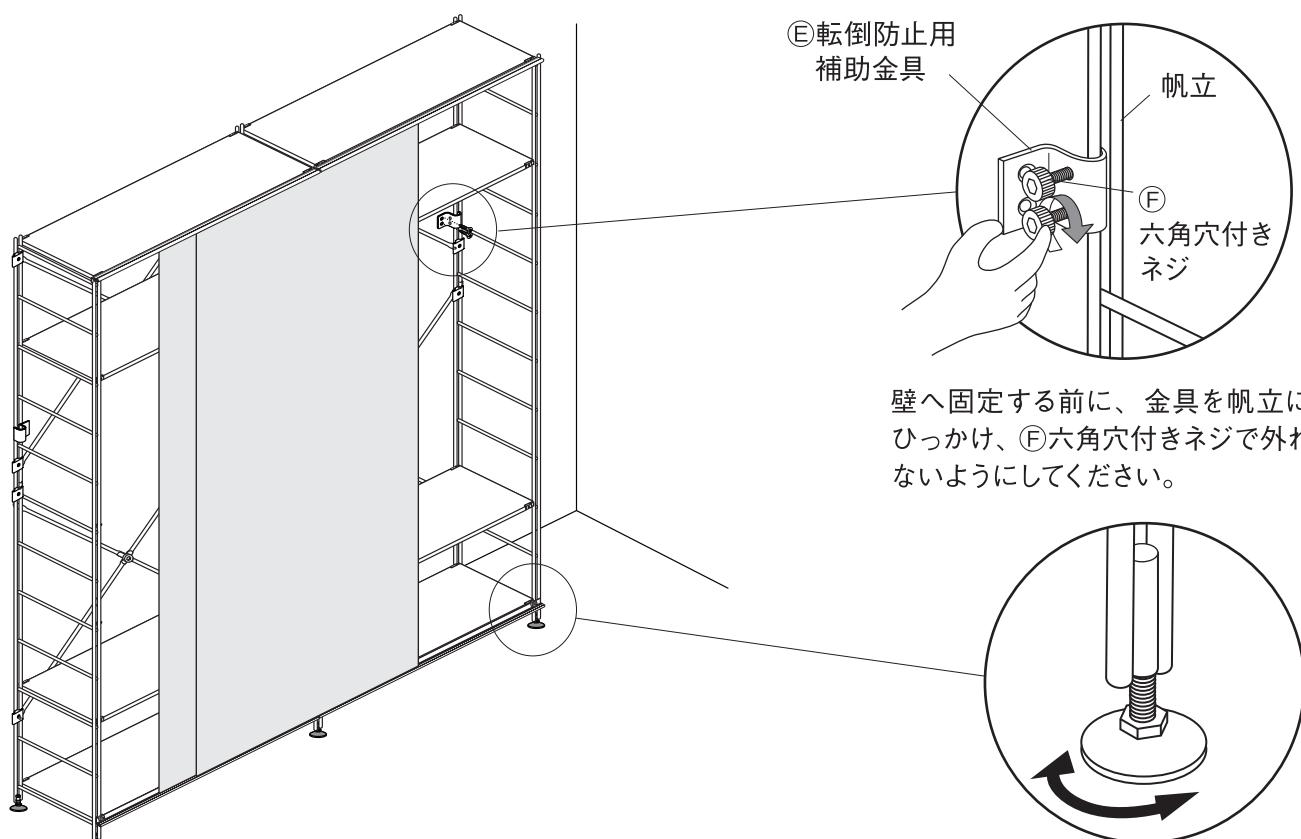
転倒防止用補助金具の取付け方法（つづき）

1

取付け位置を確認します。本体を水平な位置に設置して、⑤転倒防止用補助金具を取り付ける位置を確認します。下欄の「転倒防止用補助金具の取り付け位置」を参考に、帆立の内側のワイヤー柱にあてて⑥六角穴付きネジを取り付けてください。床とアジャスターの間にすき間がある場合は、アジャスターを調整してください。

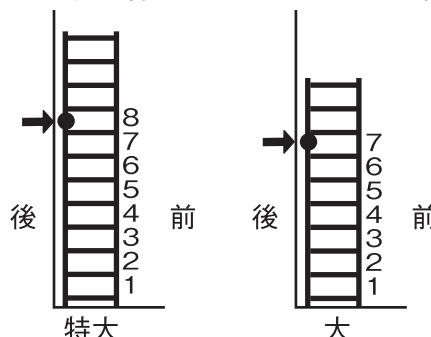
お願い

- 商品が水平に設置されるようにそれぞれのアジャスターを調整してください。安定をよくする為、前のアジャスターを少し高めにするとよりよいです。
- レールを取付ける前に転倒防止用補助金具を壁へ取付けると、レールが取り付かないことがあります。必ず先にレールを取り付けてください。

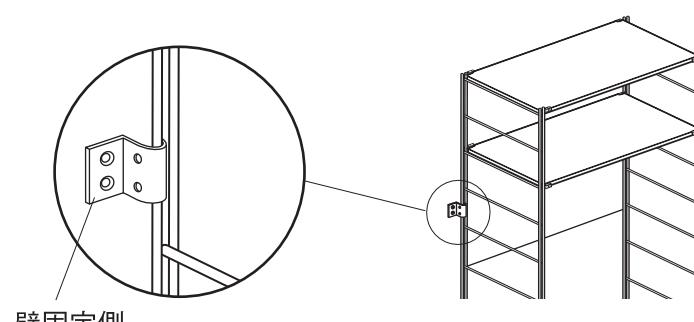


転倒防止用補助金具の取付け位置

■転倒防止用補助金具は、特大の帆立の場合は帆立のワイヤーの下から8段目、大の帆立の場合は下から7段目を目安にして、取付けるようにしてください。

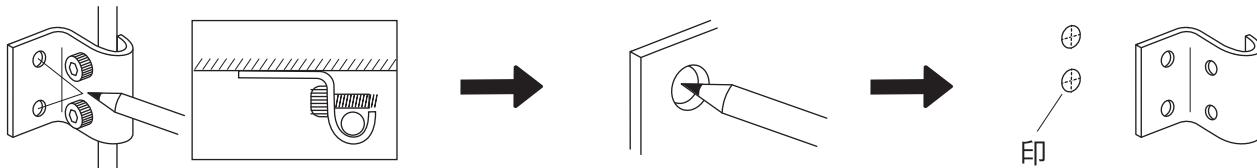


■バックパネルをご使用の場合は、転倒防止用補助金具の向きを下図のようにして、壁固定側を外側にしてください。



転倒防止用補助金具の取付け方法（つづき）

- 2** ④転倒防止用補助金具を壁にあて、鉛筆などで穴位置に印をつけます。（木・石こうボード・コンクリート下地共通）



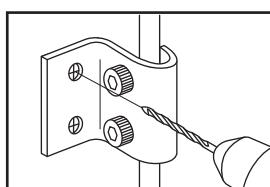
- 3** ⑤転倒防止用補助金具を取り付けた商品を壁に固定します。壁の材質を確認の上、下記のいずれかのパーツで取り付けてください。
作業時には保護メガネなどの保護具を着用してください。

■木下地の壁の場合 ※木材に固定する場合に使用します。（厚み9mm未満の木材には使用しないでください。）

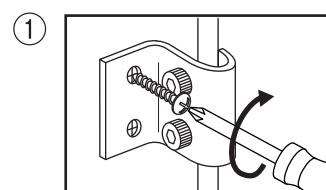
⑥木ネジを使って、柱や壁の下地材（間柱）などの木ネジで取り付け可能な箇所に固定します。

※石こうボードの壁でも、壁の内側の間柱などの下地材を利用して木ネジで固定できる場合があります。

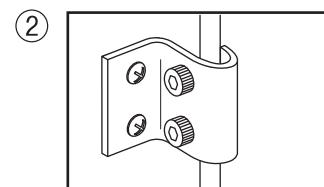
取り付ける壁の状態をご確認ください。



印をつけた円の中心に、必要に応じて径3mmのドリルビットで穴を開けます。
柱の場合、深さは40mmを目安にしてください。



壁の印と金具の取付穴を合わせ、電動工具で⑥木ネジをねじこみます。



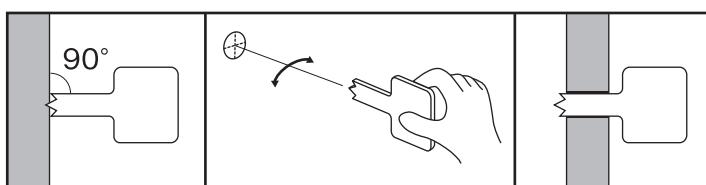
⑥ネジの頭の裏が金具にすき間なく接したら完了です。

■石こうボード壁の場合 ※石こうボード壁の場合に使用します。

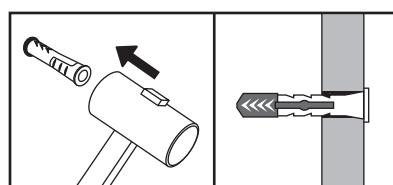
石こうボード壁で、壁の内側の間柱や下地材への木ネジ固定が困難な場合は、⑦木ネジと⑧アンカーを使って壁と固定します。

注意

- ①下穴用キリで壁に穴を開ける際、壁に対してななめにしないでください。①下穴用キリで壁にあける穴が垂直でないと穴が大きくなり、④転倒防止用補助金具と⑧アンカーが正しく取り付けられない原因となります。
- ⑦木ネジの頭が金具に接してもネジがきつくならない場合は、正しく取り付けられていない可能性があります。一度壁に打ち込んだ⑧アンカーを取り外すのは困難ですので、専門業者に依頼することをおすすめします。
- 壁に打ち込んだ⑧アンカーに対し、⑦木ネジをまわしすぎると⑧アンカーが空回りし、強度が落ちますので、締めすぎないようにしてください。
- 厚み9.5mm未満の石こうボード、吸音ボードには使用しないでください。

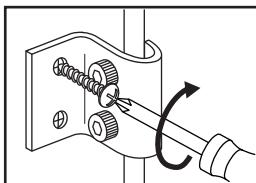


①①下穴用キリを使用し、穴を開けます。印をつけた円の中心に①下穴用キリを壁に垂直にあて、左右に回転させながら垂直に穴を開けるようにしてください。



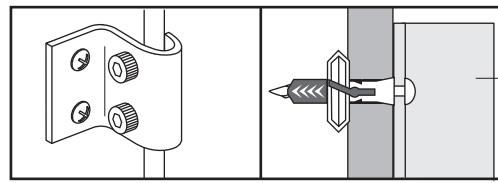
②⑧アンカーの頭が壁と平らになるまで、ゴムハンマーなどでゆっくり打ち込みます。

転倒防止用補助金具の取付け方法（つづき）



- ③ ⑤ 転倒防止用補助金具のネジ穴を、打ち込んだ④アンカーに合わせドライバーで⑥木ネジを少しずつゆっくりねじこみます。

※ 石こうボードに取り付ける場合、電動工具は使わないでください。



- ④ ⑥ 木ネジの頭の裏が金具にすき間なく接して、ネジがきつくなつてから1~2回転させてください。⑦ 木ネジをまわすことにより、④アンカーは石こうボードの裏で団子状になり、金具が固定されます。

石こうボードとは

- 現在の戸建てやマンションでは浴室以外の多くの壁が不燃を目的とした石こうボードを使用しています。
- 石こうボードの見分け方

石こうボードの壁は表面がビニール素材のクロス張りが一般的です。画びょう等を刺して、抜いた時に白い粉がつくことを目安にしてください。

■コンクリート壁の場合

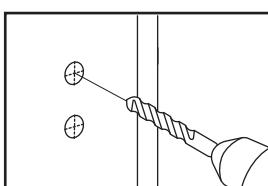
※コンクリート壁の場合に使用します。

壁の状況に応じた、市販の振動ドリル、電動工具を用いて固定してください。

コンクリート壁で、木ネジの固定が困難な場合は④木ネジと④アンカーを使って壁に固定します。

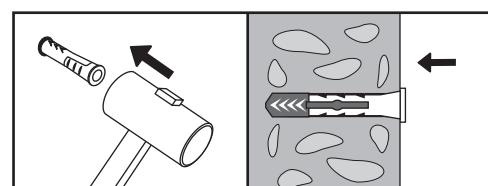


- 取り付け作業については、専門業者へ依頼することをおすすめします。
- 電動工具等をご使用の場合は、低速回転でゆっくりネジを締めこんでください。
- 厚み 150 mm未満のコンクリート壁には使用しないでください。

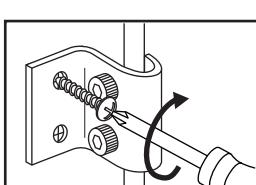


- ① 印を付けた円の中心に、市販の振動ドリルを使用し、径 6 mm のドリルビットで穴を開けます。深さは 50 mm を目安にしてください。

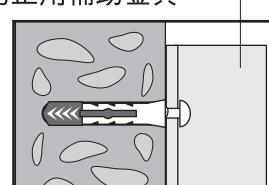
※ アンカーを打ちこむ前に、ほうきや掃除機などで、穴の中の粉を取り除いてください。取りのぞかないままですと、アンカーが奥まで入らず取付けが不十分になるおそれがあります。



- ② ④アンカーの頭が壁と平らになるまで、かなづちなどで打ち込みます。



- ③ ⑤ 転倒防止用補助金具のネジ穴とアンカー位置をあわせ、打ち込んだ④アンカーに電動工具で⑥木ネジをねじこみます。



- ④ ⑥ 木ネジの頭の裏が金具にすき間なく接したら完了です。

お手入れ方法

保守・点検

- 各部にゆるみやぐらつきがないか定期的に点検し、異常が見られたら使用を中止してください。商品の破損、ケガの原因となります。

アルミ部のお手入れ

- 毎日のお手入れはやわらかい布で乾拭きしてください。
- 汚れのひどい時は、3~5%に薄めた中性洗剤を浸した布で汚れを落とし、その後、水で浸した布で洗剤分をよくふき取ってください。次に乾いた布で軽くふいた後、自然乾燥させてください。

製品仕様

品 名	ユニットシェルフ・フロントスクリーン用レール 84cm 2連タイプ	ユニットシェルフ・フロントスクリーン用レール 84cm 連結用
製 品 寸 法	幅 820 × 奥行 25 × 高さ 18 mm (レール 1 本当たり)	幅 820 × 奥行 25 × 高さ 18 mm (レール 1 本当たり)
製 品 質 量	約 1 kg (レール 1 本当たり 0.25 kg × 4 本)	約 0.5 kg (レール 1 本当たり 0.25 kg × 2 本)
用 途	ユニットシェルフ用スクリーン	
材 質	フロントスクリーン用レール：アルミニウム（アルマイト加工） バー キャップ、連結棒：ポリアセタール 転倒防止用補助金具：スチール（エポキシ粉体塗装）	
原 産 国	日本	

お問い合わせ先

商品のお問い合わせは、お買い上げの販売店もしくは下記お客様室までご連絡ください。

株式会社 良品計画

〒170-8424

東京都豊島区東池袋 4-26-3

お客様室でんわ

 0120-14-6404

受付時間 ■平日 10:00 ~ 21:00
■土・日・祝 10:00 ~ 18:00